



CEAS/Sakai 連携プログラム 1.0.1

CEAS/Sakai インストールの手引き (OS:MAC OS X, DB:MySQL)

内容

1. はじめに
 2. CEAS,Sakai, Tomcat の配置と JDK のインストール
 3. DBMS のインストール
 4. Sakai および CEAS 用データベースの作成
 5. 設定ファイルの編集
 6. CEAS/Sakai 連携プログラムの起動と停止
 7. 動作確認とサンプルデータの設定
 8. その他
- 付録 1 CEAS 環境設定ファイル
- 付録 2 CEAS Core1 パッケージ構成一覧
- 付録 3 CEAS 基本データ入力フォーマット(3系)
- 付録 4 データベースインストール時のエラー対応方法

作成 2009/06/09
更新 2010/01/12

1. はじめに

本ドキュメントではMacOS XをOSとするマシンへ新規にCEAS/Sakai 連携プログラム1.0.1の導入を行う場合を想定しています。本ドキュメントの手順によりCEAS/Sakai 連携プログラム1.0.1を動作させるために必要なソフトウェアのインストールができます。なお、インストールの所要時間は約1時間です。

1.1 インストールについて

●概要

CEAS/Sakai 連携プログラム1.0.1はCEAS3.0.9[20090603]とsakai-src-2.5.4をベースとしてカスタマイズしています。

CEASの全機能に加え、Sakai CLE (Sakai Collaboration and Learning Environment, このメモではSakaiと呼ぶ)の以下の機能がCEASからシームレスに利用できます。

- ・フォーラム(sakai.forums)
- ・SCORM(sakai.scorm.tool)
- ・Wiki(sakai.rwiki)
- ・リソース(sakai.resources)

●動作環境

- ・1.5GB以上のメモリ容量
- ・1.5GB以上のディスク空容量
- ・ポート8080と8081をTomcatで利用します。

●インストール後のフォルダ構成

```
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/  
    apache-tomcat-5.5.26    <- Sakai用Tomcat  
    apache-tomcat-6.0.18  <- CEAS & CAS用Tomcat  
    sakai-src              <- Sakaiのソース  
    software               <- MAC OS X用の必要ソフト (J2SE5.0、MySQL)
```

1.2 インストールの準備

インストールに必要な機器と資料の準備

- ・MacOSがインストールされたマシン
- ・下記のOSへのインストールの確認はできています。

MacOS X 10.6.2

- ・CEAS Community Page からダウンロードした CEAS/Sakai 連携プログラム 1.0.1 (CEAS-Sakai-Linux-MAC_OS_X-1.0.1-yyyyymmdd.zip)
yyyyymmdd は年月日 例: 20100109
- ・CEAS Community Page からダウンロードした CEAS-Sakai 連携プログラム 1.0.1 インストールの手引き (CEAS-Sakai1.0.1_installation_guide_MAC_OS_X.jp-MySQL-yyyyymmdd.pdf)

2. CEAS, Sakai, Tomcat の配置と JDK のインストール

2.1 CEAS, Sakai, Tomcat の配置

- (1) ダウンロードした CEAS-Sakai-MAC_OS_X-MySQL-1.0.1-yyyyymmdd.zip は、MAC の場合ユーザのダウンロードフォルダーに保存されます。
- (2) ダウンロードフォルダーの CEAS-Sakai-MAC_OS_X-MySQL-1.0.1-yyyyymmdd.zip を「/usr/local」にコピーし unzip で解凍します。(ディレクトリ /usr/local が無い場合には、作成します。)

```
$ sudo mkdir /usr/local
$ sudo chmod 777 /usr/local
$ cd /usr/local
$ sudo cp ~/Downloads/CEAS-Sakai-MAC_OS_X-MySQL-1.0.1-yyyyymmdd.zip .
  (ユーザディレクトリの「ダウンロード」のディレクトリにダウンロードされているとしています。)
```

\$ unzip CEAS-Sakai-MAC_OS_X-MySQL-1.0.1-yyyyymmdd.zip
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux ディレクトリが作成されます。

2.2 JDK のインストール

J2SE5.0 をインストールします。(既にインストールされていれば不要です)

※J2SE5.0 系をお使い下さい。(1.4 系や 1.6 系では正常に動作しません)

- (1) インストールするディレクトリへ移動します。

```
$ cd /usr/local/
```

- (2) パーミッションを変更し、インストーラに実行権限を与えます。

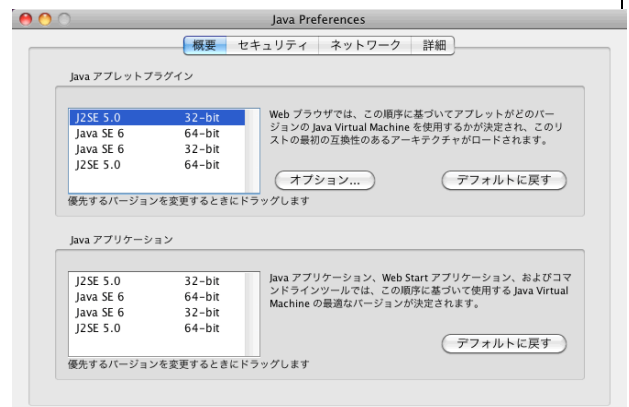
```
$ chmod 777 /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/software/JavaForMacOSX10.5Update5.pkg
```

- (3) 以下のコマンドを実行します。

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/software/
$ mkdir j2se5
$ cd j2se5
$ xar -xf ../JavaForMacOSX10.5Update5.pkg
$ mv JavaForMacOSX10.5Update5.pkg/Payload Payload.pax.gz
$ gunzip Payload.pax.gz
$ pax -rvf Payload.pax
$ cd ./System/Library/Frameworks/JavaVM.framework/Versions/
$ sudo mv 1.5.0 /System/Library/Frameworks/JavaVM.framework/Versions/J2SE5
$ cd /System/Library/Frameworks/JavaVM.framework/Versions/
$ sudo chown -R root:wheel J2SE5
$ sudo rm 1.5.0
$ sudo ln -s J2SE5 1.5.0
$ sudo rm 1.5
$ sudo ln -s J2SE5 1.5
$ sudo rm CurrentJDK
$ sudo ln -s J2SE5 CurrentJDK
```

- (4) 「ファインダー」→「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Java Preferences」をダブルクリックします。

①Java アプレットプラグインの J2SE5.0 32-bit をドラッグし、最上部に移動する (優先する)。



②Java アプリケーションの J2SE5.0 32-bit をドラッグし、最上部に移動する (優先する)。

(5) java バージョンの確認

```
$ java -version
java version "1.5.0_20"
Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (build 1.5.0_20-b02-315)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 1.5.0_20-141, mixed mode)
```

2.3 Tomcat の起動準備

Tomcat の起動スクリプトに実行権限を付けます

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin
$ chmod +x *.sh
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/bin
$ chmod +x *.sh
```

3. DBMS のインストール

3.1 MySQL のインストール

MySQL をインストールします。(既にインストールされていれば不要です)

ユーザのダウンロードフォルダーの CEAS-Sakai-MAC_OS_X-MySQL-1.0.1-yyyyymmdd.zip を解凍 (ファインダーでダブルクリック) します。

ファインダーからユーザの下のダウンロードフォルダーの

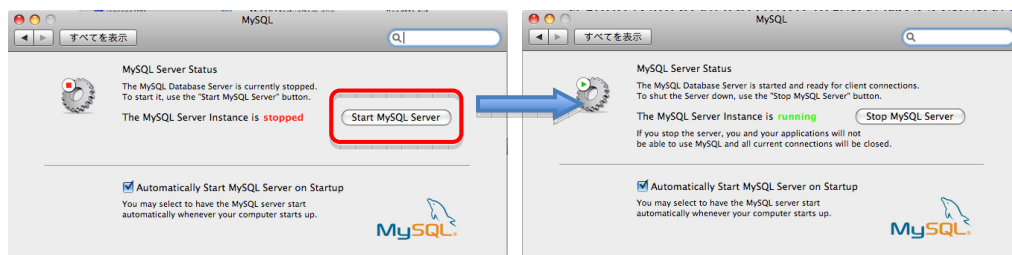
CEAS-Sakai-Linux/software/mysql-5.1.41-osx10.5-x86.dmg をダブルクリックします。

mysql-5.0.85-osx10.5-x86.pkg と MySQLStartupItem.pkg、MySQL.prefPane などが表示されます。

- ① ファインダーから mysql-5.1.41-osx10.5-x86.pkg をダブルクリックし、画面表示に従ってインストールします。
- ② ファインダーから MySQLStartupItem.pkg をダブルクリックし、画面表示に従ってインストールします。
- ③ システム環境設定ウィンドウを開き MySQL.prefPane をシステム環境設定のウィンドウにドラッグします。



④ システム環境設定からの MySQL の起動



「Start MySQL Server」ボタンをクリックします。

4. Sakai および CEAS 用データベースの作成

4.1 Sakai 用データベースの作成

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux  
$ /usr/local/mysql/bin/mysql -u root < sakaidbcreate.sql
```

4.2 CEAS 用データベースの作成

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux  
$ /usr/local/mysql/bin/mysql -u root < ceasdbcreate.sql
```

5. 設定ファイルの編集

5.1 初期設定

(1) ユーザの環境変数設定

.bash_profile にユーザの環境変数の設定を行います。

```
$ vi ~/.bash_profile
```

以下をファイルの一番下に追加記述してください。

```
export JAVA_HOME=/Library/Java/Home  
export PATH=$PATH:$JAVA_HOME/bin
```

ファイル更新後、設定を有効にするために以下を実行してください。

```
$ source ~/.bash_profile
```

(2) Sakai の起動

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin/startup.sh  
$ tail -f /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/logs/catalina.out
```

Sakai の起動に数分要するため、「INFO: Server startup in」の文字列がログ表示されるまでお待ち下さい。(約 3 分程度)

Ctrl+C でログ表示を抜けます。

(3) Sakai の Tomcat を停止します。

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin/shutdown.sh
```

(4) CEAS 環境設定ファイルの確認/変更

CEAS3.0.9 を動作させるだけならば、設定を編集する必要は特にありませんが、設定内容を確認してください。(付録1「CEAS 環境設定ファイル」) なお、CEAS の環境設定ファイルは Unicode で保存されており、テキストエディタで開くと日本語は、エスケープ unicode 表示となります。エスケープ unicode を変換するには、native2ascii コマンドを利用します。

CEAS 環境設定ファイルは、

```
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/
WEB-INF/classes/jp/ac/ceascore/configuration2/customConfiguration.properties
```

にあります。

エスケープ unicode の変換方法

```
$ native2ascii -reverse
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/
WEB-INF/classes/jp/ac/ceascore/configuration2/customConfiguration.properties /tmp/customConfiguration.properties.sjis
※実際には1行で入力してください
```

変換されたものは、文字コード Shift-JIS コードです。Shift-JIS を UTF-8 に変換するには、iconv や nkf コマンドを利用して変換してください。

確認 (変更) 後、もとのエスケープ unicode に戻すには、native2ascii コマンドを利用します。

```
$ native2ascii -encoding UTF-8 /tmp/customConfiguration.properties
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/
WEB-INF/classes/jp/ac/ceascore/configuration2/customConfiguration.properties
※実際には1行で入力してください
```

5.2 IP アドレスの登録

vi などのテキストエディタで開き localhost の部分をマシンの IP アドレスまたはホスト名を指定します。

(以下は CEAS、CAS、Sakai サーバを異なるマシンにインストールしている場合の説明です。)

[修正が必要なファイル]

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/の下の
```

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/applicationContext-rest.xml
23 行目、28 行目
※Sakai の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/applicationContext-sakaisync.xml
9 行目
※Sakai の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/cas-login/login2redirect.jsp
9~10 行目
※CAS の IP アドレスを指定
11 行目
※CEAS の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/cas-login/logout.jsp
9 行目
※CAS の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-5.5.26/sakai/sakai.properties
82 行目
但し 108 行目は、次のように (127.0.0.1) を「localhost」と指定する。

```
url@javax.sql.BaseDataSource=jdbc:mysql://localhost:3306/sakai?  
useUnicode=true&characterEncoding=UTF-8 *実際は1行*
```

※Sakai の DB 接続設定を指定

- apache-tomcat-5.5.26/webapps/sakai-login-tool/WEB-INF/web.xml

52 行目、56 行目

※CAS の IP アドレスを指定

60 行目

※Sakai の IP アドレスを指定

5.3 データベース接続文字列の修正

vi などのテキストエディタで開きデータベースへの接続ユーザ、パスワードを指定します。

[修正が必要なファイル]

```
$ cd /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/  
/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/の下の
```

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/dataSource.properties
7 行目～10 行目 (次の例のように、これらの行の先頭文字が ‘#’ でないことを確認する)

※CEAS の DB 接続設定を指定

```
#PostgreSQL  
#driverClassName=org.postgresql.Driver  
#url=jdbc:postgresql://localhost:5432/CEASCOREDB  
#username=postgres  
#password=postgres  
#MySQL  
driverClassName=com.mysql.jdbc.Driver  
url=jdbc:mysql://localhost:3306/ceascoredb?characterEncoding=utf8  
username=root  
password=
```

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/cas/WEB-INF/deployerConfigContext.xml
176 行目～189 行目 (MySQL の ceascoredb への接続指定)

(<!-- と --> に囲まれていないことを確認する。)

※CEAS の DB 接続設定を指定

- apache-tomcat-5.5.26/sakai/sakai.properties
88 行目、89 行目、105 行目～110 行目 (以下のように指定されていることを確認する)

88 行目 username@javax.sql.BaseDataSource=root

89 行目 password@javax.sql.BaseDataSource=

105 行目～110 行目 の先頭に ‘#’ がないこと

※Sakai の DB 接続設定を指定

6. CEAS/Sakai 連携プログラムの起動と停止

6.1 CEAS/Sakai 連携プログラムの起動

2つの Tomcat を起動します。

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin/startup.sh
```

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/bin/startup.sh
```

6.2 CEAS/Sakai 連携プログラムの停止

2つの Tomcat を停止します。

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin/shutdown.sh  
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/bin/shutdown.sh
```

7. 動作確認とサンプルデータの設定

7.1 CEAS/Sakai 連携プログラムの動作確認

(1) 2つの Tomcat を起動します。

```
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-5.5.26/bin/startup.sh  
$ /usr/local/CEAS-Sakai-Linux/apache-tomcat-6.0.18/bin/startup.sh
```

(2) ブラウザから CEAS サーバ「[http://\(CEASサーバのIPアドレス\):8081/](http://(CEASサーバのIPアドレス):8081/)」にアクセスします。
ID : admin
パスワード : admin (初期値)

7.2 サンプルデータの登録

7.2.1 ユーザのサンプルデータ登録

- (1) 管理者 TOP ページ左のメニューより、一括登録用メニューの「ユーザリスト読込」を選択してください。
- (2) ユーザリスト読込み画面上部中央にある、CSV ファイルサンプル ボタンをクリックしてください。サンプルファイルのダウンロードが始まりますので、デスクトップなど適当な場所に保存してください。その際、ファイル名は sample_ud.csv、ファイルの種類は すべてのファイル としてください。(デフォルトの usrList.csv をそのまま用いてもよい。)
- (3) sample_ud.csv をアップロードします。ユーザリスト読込み画面下部にある、参照ボタンをクリックし、(2)で保存した sample_ud.csv を選択します。アップロードボタンを押して画面が遷移したら、登録ボタンを押してください。ユーザのサンプルデータが登録されます。
- (4) ユーザリスト読込み画面上部にあるグローバルナビゲーション (黒いベルト) の メインメニューをクリックし、管理者 TOP ページに戻ってください。

7.2.2 科目のサンプルデータ登録

- (1) 管理者 TOP ページ左のメニューより、一括登録用メニューの科目リスト読込を選択してください。
- (2) 科目リスト読込み画面上部中央にある、CSV ファイルサンプル ボタンをクリックしてください。サンプルファイルのダウンロードが始まりますので、デスクトップなど適当な場所に保存してください。その際、ファイル名は sample_cd.csv、ファイルの種類は すべてのファイル としてください。(デフォルトの courseList.csv をそのまま用いてもよい。)
- (3) sample_cd.csv をアップロードします。科目リスト読込み画面下部にある、参照ボタンをクリックし、(2)で保存した sample_cd.csv を選択します。アップロードボタンを押して画面が遷移したら、登録ボタンを押してください。科目のサンプルデータが登録されます。
- (4) 科目リスト読込み画面上部にあるグローバルナビゲーション (黒いベルト) の メインメニューをクリックし、管理者 TOP ページに戻ってください。

7.2.3 科目担任のサンプルデータ登録

- (1) 管理者 TOP ページ左のメニューより、一括登録用メニューの科目担任関連リスト読込を選択してください。
- (2) 科目担任関連リスト読込み画面上部中央にある、CSV ファイルサンプル ボタンをクリックしてください。サンプルファイルのダウンロードが始まりますので、デスクトップなど適当な場所に保存してください。その際、ファイル名は sample_ca.csv、ファイルの種類は すべてのファイル としてください。(デフォルトの courseAssignmetList.csv をそのまま用いてもよい。)
- (3) sample_ca.csv をアップロードします。科目担任関連リスト読込み画面下部にある、参照ボタンをクリックし、(2)で保存した sample_ca.csv を選択します。アップロードボタンを押して画面が遷移したら、登録ボタンを押してください。科目担任のサンプルデータが登録されます。
- (4) 科目担任関連リスト読込み画面上部にあるグローバルナビゲーション (黒いベルト) の メインメニューをクリックし、管理者 TOP ページに戻ってください。

7.2.4 履修情報のサンプルデータ登録

- (1) 管理者 TOP ページ左のメニューより、一括登録用メニューの履修情報リスト読込を選択してください。
- (2) 履修情報リスト読込み画面上部中央にある、CSV ファイルサンプル ボタンをクリックしてください。サンプルファイルのダウンロードが始まりますので、デスクトップなど適当な場所に保存してください。その際、ファイル名は sample_ce.csv、ファイルの種類は すべてのファイル としてください。(デフォルトの courseEnrollementList.csv をそのまま用いてもよい。)
- (3) sample_ce.csv をアップロードします。履修情報リスト読込み画面下部にある、参照ボタンをクリックし、(2)で保存した sample_ce.csv を選択します。アップロードボタンを押して画面が遷移したら、登録ボタンを押してください。履修情報のサンプルデータが登録されます。

- (4) 履修情報リスト読み込み画面上部にあるグローバルナビゲーション（黒いベルト）のメインメニューをクリックし、管理者 TOP ページに戻ってください。

以上でサンプルデータの登録が完了しました。

7.3 サンプルデータの確認

- (1) Windows マシンブラウザで「http://(CEAS サーバの IP アドレス):8081/」にアクセスしてください。CEAS のログイン画面が表示されます。
- (2) ID に admin, パスワードに admin と入力してください。管理者のトップ画面が表示されていることを確認してください。確認したらログアウトしてください。
- (3) ID に t00001, パスワードに 44444444 と入力してください。担任者のトップ画面が表示されていることを確認してください。確認したらログアウトしてください。
- (4) ID に gh00001, パスワードに 11111111 と入力してください。学生のトップ画面が表示されていることを確認してください。確認したらログアウトしてください。

以上が確認できれば、CEAS/Sakai 連携プログラムのインストールは完了です！

8. その他

8.1 アップロードするファイルの文字コードについて

リスト読み込み機能の CSV ファイルなどのファイルは、文字コードを「**UTF-8**」に統一するようにしてください。

その際、UTF-8 の CSV ファイルは Excel では文字化けするため編集・保存できません。また、メモ帳でも UTF-8 のファイルを編集・保存しないようにしてください。ファイルの始めに BOM という見えないデータが付加されるため、CEAS で読み込むことができなくなります。

「TeraPad」や「秀丸」など、文字コードを指定して編集できるエディタで編集してください。

8.2 ログイン画面のタイトル・画像の変更方法について

ログイン画面上部にあるタイトル・画像を編集することが可能です。詳細な方法は CEAS Community Page の CEAS 導入ガイドより「CEAS3 系ログイン画面カスタマイズ手順書」をダウンロードし、参照してください（ダウンロードにはログインが必要です）。

8.3 WEB サーバー IP 設定箇所まとめ

5 章 2 節では、localhost を対象に説明しましたが、以下に CEAS、Sakai、CAS の IP アドレスに関する設定部分をまとめます。

/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/の下の

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/applicationContext-rest.xml
23 行目、28 行目
※Sakai の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/applicationContext-sakaisync.xml
9 行目
※Sakai の IP アドレスを指定

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/cas-login/login2redirect.jsp
9～10 行目
※CAS の IP アドレスを指定
11 行目
※CEAS の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/cas-login/logout.jsp
9 行目
※CAS の IP アドレスを指定
- apache-tomcat-5.5.26/sakai/sakai.properties
82 行目
但し 108 行目は、次のように (127.0.0.1) を「localhost」と指定する.
url@javax.sql.BaseDataSource=jdbc:mysql://localhost:3306/sakai?
useUnicode=true&characterEncoding=UTF-8 *実際は 1 行*
※Sakai の DB 接続設定を指定
- apache-tomcat-5.5.26/webapps/sakai-login-tool/WEB-INF/web.xml
52 行目、56 行目
※CAS の IP アドレスを指定
60 行目
※Sakai の IP アドレスを指定

8.4 データベースサーバー接続文字列設定箇所まとめ

5 章 3 節では、localhost を対象に説明しましたが、以下にデータベースサーバーに関する設定部分をまとめます。

/usr/local/CEAS-Sakai-Linux/の下の

- apache-tomcat-6.0.18/webapps/Core1/WEB-INF/dataSource.properties
7 行目～10 行目 (次の例のように、これらの行の先頭文字が ‘#’ でないことを確認する)
※CEAS の DB 接続設定を指定
- apache-tomcat-6.0.18/webapps/cas/WEB-INF/deployerConfigContext.xml
176 行目～189 行目 (MySQL の ceascoredb への接続指定)
(<!-- と --> に囲まれていないことを確認する.)
※CEAS の DB 接続設定を指定
- apache-tomcat-5.5.26/sakai/sakai.properties
88 行目、89 行目、105 行目～110 行目 (以下のように指定されていることを確認する)
88 行目 username@javax.sql.BaseDataSource=root
89 行目 password@javax.sql.BaseDataSource=
105 行目～110 行目 の先頭に ‘#’ がいないこと
※Sakai の DB 接続設定を指定

8.5 インストール時に問題が発生した場合

インストールの際に不明な点や問題が発生した場合は、CEAS Community Page の TOP ページの「CEAS に関して」メニューにある「掲示板」にてお問い合わせ下さい。

CEAS Community Page はこちら ⇒ <http://ceascom.iecs.kansai-u.ac.jp/>

付録 1

CEAS 環境設定ファイル
(customConfiguration.properties)

```
#####
##### ユーザが編集する定数 #####
##### ※DB の設定は WEB-INF>dataSource.properties #####
#####
#CEAS index ページ アドレス
#備考: メールなどにリンクとして記載される
CUSTOM_CEASLOGINLINK=http://localhost:8080/Core1/faces/index.jsp
#SSL 利用の場合はこちら↓
#CUSTOM_CEASLOGINLINK=https://localhost/Core1/faces/index.jsp

#メールサーバホスト
#備考: メール機能を使う場合は必要
CUSTOM_SMTPHOST=localhost

#出席送信許可 IP
#備考: 0 から始まる連番とすること
CUSTOM_ATTENDANCEIP0=192.168.0.*
CUSTOM_ATTENDANCEIP1=
CUSTOM_ATTENDANCEIP2=
CUSTOM_ATTENDANCEIP3=
CUSTOM_ATTENDANCEIP4=
#不正アクセス対策 1 一定時間(分)内に同一アカウントが一定回数以上のログインに失敗した時
#FLG1 0...無効、1...有効
#TIME1 一定時間(分)
#COUNT1 同一アカウントのログイン失敗回数(回)
CUSTOM_ILLEGALACCESSFLG1=0
CUSTOM_ILLEGALACCESSTIME1=10
CUSTOM_ILLEGALACCESSCOUNT1=10

#不正アクセス対策 2 一定時間(分)内に同一 IP アドレスから一定回数以上ログインがあった時
#FLG2 0...無効、1...有効
#TIME2 一定時間(分)
#COUNT2 同一 IP のログイン回数(回)
#PERIOD2 アクセスを拒否する時間(分)
CUSTOM_ILLEGALACCESSFLG2=0
CUSTOM_ILLEGALACCESSTIME2=10
CUSTOM_ILLEGALACCESSCOUNT2=10
CUSTOM_ILLEGALACCESSPERIOD2=720

#名列番号を切り取って表示するための開始位置と終了位置
#ex.) NAMENOPREFIXSTARTNO=0, NAMENOPREFIXENDNO=13
```

```
# 「01234567890123 シス 00-01 関大太郎」 → 「シス 00-01 関大太郎」と表示される
#備考：使わない場合はどちらも 0 にすること
CUSTOM_NAMENOPREFIXSTARTNO=0
CUSTOM_NAMENOPREFIXENDNO=13

#####
## これ以降は必要があれば変更すること ##
#####
#科目に設定する授業回数の最大値(回)
#備考：デフォルト値は 50
CUSTOM_MAXCLASSESSIONCOUNT=50

#科目に設定するグループフォルダ数の最大値(回)
#備考：デフォルト値は 50
CUSTOM_MAXGROUPFOLDERCOUNT=50

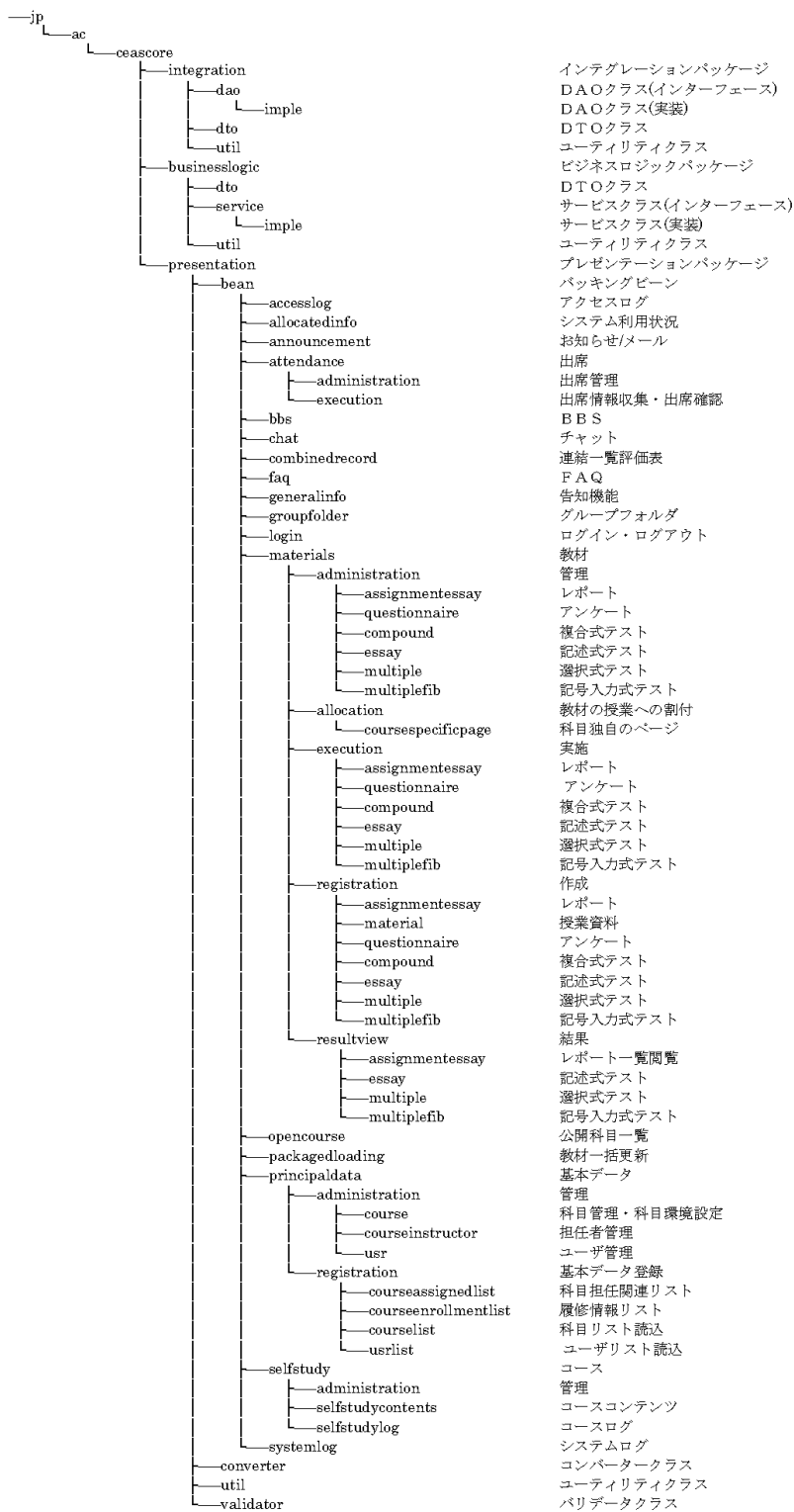
#お知らせ等の「new」の表示期間(ミリ秒)
#ex.) 3 日間=3*24*60*60*1000=259200000 (ミリ秒)
CUSTOM_NEWCHECKTIME=259200000

#レポートフィードバック使用時の最大提出可能枚数
#備考：デフォルト値は 30
CUSTOM_MAXIMUMREPORTCOUNT=30
```

付録 2

【作成日】 8/21/2006 【更新日】 6/17/2009

CEAS Core1 パッケージ構成一覧



付録 3

2009.5.25

CEAS基本データ入力フォーマット(3系)

ud ユーザ

No	項目名	必須	文字数	内容	備考
1	識別子コード	○	2	「ud」固定	
2	ステータスフラグ	○	1	1:登録、2:更新、3:論理削除、4:物理削除、6:名列順のみ更新	GUIからの一括登録で「6:名列順のみ更新」は未実装(現状バッチのみ対応)
3	アカウント	○	64	半角英数字のみ	
4	パスワード	○	128	半角英数字のみ、6文字以上	
5	名列番号順	○	128	履修者リストの表示順序などに使用	
6	氏名(漢字)	○	64	全角で32文字以下	
7	氏名(カナ)		64	全角で32文字以下	
8	管理権限	○	1	1:履修環境管理者、2:担任者、3:学生	
9	性別		1	1:男、2:女	0で性別不明、空欄可
10	生年月日		8	yyyymmdd形式	
11	e-mail		256		
12	移動コード		1	4:休学、5:退学、6:除籍、7:転出、8:卒業	
13	移動日		8	yyyymmdd形式	
14	有効日		8	yyyymmdd形式	指定した日付から有効になる訳ではない

cd 科目データ

No	項目名	必須	文字数	内容	備考
1	識別子コード	○	2	「cd」固定	
2	ステータスフラグ	○	1	1:登録、2:更新、3:論理削除、4:物理削除	
3	科目コード	○	128	半角英数字のみ	
4	科目名称	○	64	全角で32文字以下	
5	年度	○	4	西暦4桁	
6	学期	○	1	0:指定なし、1:春、2:夏、3:秋、4:冬、5:前期、6:後期、7:集中、8:通年、9:その他	
7	学科		64	全角で32文字以下	
8	担任者名		128		
9	曜日		1	1:月、2:火、3:水、4:木、5:金、6:土、7:日、0:設定なし	CEAS2系では8:設定なし
10	時限		1	1:1時限、2:2時限、3:3時限、4:4時限、5:5時限、6:6時限、7:7時限、8:8時限、0:設定なし	CEAS2系では9:設定なし
11	有効日		8	yyyymmdd形式	

ca 科目担任データ

No	項目名	必須	文字数	内容	備考
1	識別子コード	○	2	「ca」固定	
2	ステータスフラグ	○	1	1:登録、3:論理削除、4:物理削除	
3	アカウント	○	64	半角英数字のみ	
4	科目コード	○	128	半角英数字のみ	
5	年度	○	4	西暦4桁	
6	学期	○	1	0:指定なし、1:春、2:夏、3:秋、4:冬、5:前期、6:後期、7:集中、8:通年、9:その他	
7	有効日		8	yyyymmdd形式	

ce 科目履修データ

No	項目名	必須	文字数	内容	備考
1	識別子コード	○	2	「ce」固定	
2	ステータスフラグ	○	1	1:登録、3:論理削除、4:物理削除	
3	アカウント	○	64	半角英数字のみ	
4	科目コード	○	128	半角英数字のみ	
5	年度	○	4	西暦4桁	
6	学期	○	1	0:指定なし、1:春、2:夏、3:秋、4:冬、5:前期、6:後期、7:集中、8:通年、9:その他	
7	有効日		8	yyyymmdd形式	

付録 4

データベースのインストール時にエラー時の対処方法を以下に記載します。

●MySQL

- OS のインストール時に MySQL をインストールしていたならば、「# ntsysv」で mysql と mysqld のサービスを停止し、再起動します。
- 「ソケットが接続できないが、存在はしている。」と表示された場合は、「/etc/my.cnf」を vi で開き、3 行目を「socket=/tmp/mysql.sock」に変更します。次に MySQL を kill -9 で強制停止させ、再度 MySQL 起動します。